

自然環境保全基礎調査

第5回自然環境保全基礎調査
特定植物群落調査報告書

平成12(2000)年3月

環境庁自然保護局 生物多様性センター

はじめに

環境庁自然保護局生物多様性センターは、全国的な観点からわが国における自然環境の現況及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進するための基礎資料を整備することを目的とし、「自然環境保全基礎調査」（以下、基礎調査という）を実施している。基礎調査は、環境庁が昭和 48(1973)年より自然環境保全法に基づき行っているものであり、調査範囲は陸域、陸水域、海域を含む国土全体を対象としている。

基礎調査の一環として実施した「特定植物群落調査」は、保護上重要な植物群落について選定基準を設け、これに該当する植物群落を地域特性も考慮しながら都道府県別に選定し、その分布や生育状況及び立地周辺に関する変化状況を把握しようとするものである。

本調査は、第 2 回基礎調査から実施され、第 3 回基礎調査に結果を集約している。その後 10 年の間隔を置いた今回の第 5 回基礎調査では、都道府県に委託して調査を行い、選定された群落の現状と変化状況に関するとりまとめを再び行い、群落単位の保全方策の策定等に資することを目的とした。

本報告書は、第 5 回基礎調査の結果について、生物多様性センターから財団法人自然環境研究センターが請負、集計・解析した上で前回調査結果と比較し、群落の変化状況と質的な変化内容を把握した。

本調査は、様々な照会に精力的にご回答いただいた各都道府県担当の方々のご協力がなければ実施し得なかった。また、現地調査を担当された調査者の方々の大変なご努力がなければ、こうしたモニタリング調査は実行不可能であった。各位に厚く謝意を表する。

環境庁自然保護局
生物多様性センター

第5回特定植物群落調査報告書

目次

1. 特定植物群落調査の概要	
1-1. 第5回特定植物群落調査で実施した調査項目	1
1-2. 調査の実施状況	1
1-3. 特定植物群落調査結果の概要	1
2. 選定群落の現状	
2-1. 都道府県別・地方別選定状況	8
2-2. 植生自然度別選定状況	8
2-3. 選定基準別選定状況	8
2-4. 相観区分別選定状況	12
2-5. 面積区分別選定状況	12
2-6. 保護地域との重複状況	18
3. 変化の状況	
3-1. 都道府県別変化状況	21
3-2. 地方別変化状況	26
3-3. 選定基準別変化状況	26
3-4. 相観区分別変化状況	29
3-5. 面積規模別変化状況	32
3-6. 保護地域との重複状況	32
4. 変化をもたらしたものは何か（変化原因）	
4-1. 変化状況別変化原因	38
4-2. 地方別変化原因	44
4-3. 相観区分別変化原因	48
4-4. 面積規模別変化原因	50
4-5. 保護地域の指定状況と変化原因	50
5. 特定植物群落がうけている圧力（インパクト）	
5-1. 全国及び地方別インパクトの状況	55
5-2. 群落の属性別インパクトの状況	57
5-3. 群落の保護状況とインパクト	63
6. 特定植物群落の具体的な変化状況とその原因（生育状況調査）	
6-1. 生育状況調査の概要と追跡調査	65
6-2. 生育状況調査群落の具体的変化状況及び変化原因	65
6-3. 植生調査による出現種の傾向	71
6-4. 毎木調査	71
7. 特定植物群落調査の成果と課題	
7-1. 特定植物群落調査の成果	78
7-2. 今後の課題	78
参考資料-1. 特定植物群落一覧	83
参考資料-2. 第5回自然環境保全基礎調査, 特定植物群落調査要綱	149

図表目次

1. 特定植物群落調査の概要

表 1-1	都道府県別調査実施状況	2
図 1-1	特定植物群落の分布状況	3
表 1-2	特定植物群落の変化状況の概要	5
表 1-3	追跡調査における変化状況の変化	6
図 1-2	変化原因別変化群落件数の増加率	7

2. 選定群落の現状

表 2-1	都道府県別特定植物群落の件数及び面積	9
表 2-2	地方別特定植物群落の件数及び面積	10
表 2-3	植生自然度別の特定植物群落メッシュ数	11
表 2-4	地方別選定基準別の件数及び面積	13
表 2-5(1)	相観区分別地方別件数及び面積	14
表 2-5(2)	相観区分別地方別件数及び面積	15
表 2-5(3)	相観区分別地方別件数及び面積	16
表 2-6	地方別・面積区分別件数及び面積	17
表 2-7	保護地域の地方別件数	19
表 2-8	保護地域の地方別面積	20

3. 変化の状況

表 3-1	都道府県別特定植物群落の変化状況（件数）	22
表 3-2	都道府県別特定植物群落の変化状況（件数の割合）	23
表 3-3	都道府県別特定植物群落の変化状況（面積）	24
表 3-4	都道府県別特定植物群落の変化状況（面積の割合）	25
表 3-5	地方別特定植物群落の変化状況（件数）	27
表 3-6	地方別特定植物群落の変化状況（面積）	28
表 3-7	選定基準別変化状況	30
表 3-8	相観区分別変化状況	31
表 3-9	面積規模別変化状況	33
表 3-10	保護地域別変化状況	34
表 3-11	保護地域・地種区分別変化状況（件数）	35
表 3-12	保護地域・地種区分別変化状況（面積）	36

4. 変化をもたらしたのは何か

表4-1	変化状況別変化原因（全国）	39
表4-2(1)	地方別変化状況別変化原因（件数）	40
表4-2(2)	地方別変化状況別変化原因（件数）	41
表4-3(1)	地方別変化状況別変化原因（割合）	42
表4-3(2)	地方別変化状況別変化原因（割合）	43
表4-4	地方別変化原因	45
表4-5(1)	都道府県別変化原因（件数）	46
表4-5(2)	都道府県別変化原因（件数）	47
表4-6	相観区分別変化原因	49
表4-7	面積規模別変化原因	51
表4-8	保護地域・地種区分別変化原因（件数）	52
表4-9	保護地域・地種区分別変化原因（割合）	53

5. 特定植物群落がうけている圧力（インパクト）

表5-1	地方別インパクトの状況	56
表5-2	選定基準別インパクトの状況	58
表5-3	相観区分別インパクトの状況（件数）	59
表5-4	相観区分別インパクトの状況（面積）	60
表5-5	群落別インパクトの状況（件数）	61
表5-6	群落別インパクトの状況（面積）	62
表5-7	保護地域別インパクトの状況	64

6. 特定植物群落の具体的な変化状況とその原因（生育状況調査）

表6-1	生育状況調査の概要	66
表6-2	地方別生育状況	67
表6-3	相観別にみた生育状況調査と追跡調査での群落変化状況の比較	68
表6-4	群落別生育状況調査と追跡調査による変化状況の比較	69
図6-1	群落別生育状況調査と追跡調査による変化状況の比較	70
表6-5	生育状況別の変化状況及び変化原因	72
表6-6	生育状況が「極めて不良」とされた群落	73
表6-7	群落組成の変化（1）主な新出種	74
表6-8	群落組成の変化（2）主な消失種	75
表6-9	亜寒帯・亜高山帯林における毎木調査結果の比較	76

